

CAT/ILLワークショップ 趣旨説明

国立情報学研究所
学術コンテンツ課
高橋菜奈子

平成24年度教育研修事業要綱

- 目的:
 - 目録所在情報サービスの中長期的な方向性を提言した『次世代目録所在情報サービスの在り方について(最終報告)』(平成21年3月)では、現状の課題の一つとして、NACSIS-CAT外に存在する書誌データを活用し、参加館の目録作業の軽減化を図ることが掲げられている。
 - 平成24年度は、外部データの活用をテーマに運用体制やシステムの改善を検討し、今後の目録業務のあり方を考える契機とする。
- 主な研修内容(グループ討議)
 - 目録業務フロー改善に関する方策を立案する。実現可能性に関する討議、課題解決案のとりまとめ、成果物の作成を行う。

外部データの活用

～NIIの今までの取り組み～

- TRCMARCの活用
 - 事前書誌登録試行
- NDL-Searchの調査
 - 平成23年度実務研修生のテーマ
NDLの公共的書誌基盤を活用することを前提にデータの精査。
- その他のアイディア
 - 現行の参照MARCへの所蔵登録を可能にするが、検索においては書誌名寄せを行って結果を表示する？
 - 近刊情報標準書誌 ONIXデータを活用する？
 - 全部OCLCでいい？

目録業務を改善するために

- 今までの常識を捨ててみる
 - 書誌品質 (=重複書誌がないこと) という考え方をすてる。
 - 共同分担目録という考え方をすてる。
 - 人間でなければ目録はとれないという考え方をすてる。
- 所蔵をいかに簡単に登録するかを考える

目録業務の改善のために、どのような方法が可能か、課題点を見極め、解決策を織り込み、実現可能性の高いプランを作成してください。

グループ討議の設定

- こんなシチュエーションを想像してください。

今から3年後の2015年8月1日、突如として新しい目録システムがリリースされ、図書館界が騒然となる。

すべてはこのワークショップから始まっていた。メンバー3人(4人)で提案したプランが実現したのである。

- 全国の図書館員は何と言っていますか？
- 皆さんの仕事はどう変わりましたか？
- そこでは、どんな人が目録業務をおこなっていますか？
(それとも人はいない？)
- 図書館サービスは変わりましたか？
- 利用者の反応はどうですか？
- **新しい総合目録はどんなシステムですか？**

ワークショップのルール

- ①全員が参加する。
 - 考え付いたことはすべて発言する。
 - 分からないことは質問する。
- ②違う意見を尊重する。
 - 他人の発言をさえぎらない。
 - 他人の発言を批判しない。
- ③全員が平等である。
 - 年上も年下も発言の重みは同じである。
 - 受講生も講師も主催者(NII)も発言の重みは同じである。

最終結論が「NIIさんお願いします」はNGです。
大学図書館とNIIが一緒にできることを考えましょう。

グループ討議 進行表

タイムテーブル	セッションのテーマ
1日目12:00-13:00	自己紹介・他己紹介
1日目15:15-16:45	事前課題プレゼンテーション
1日目17:00-17:30	事前課題振り返り
2日目10:15-11:00	課題点の洗い出し
2日目11:00-12:00	原因の探索と解決策のアイデア出し
2日目14:00-15:00	解決策のアイデア出し
2日目15:00-16:00	進捗口頭発表10分+質疑10分×3グループ
2日目16:15-17:30	解決策のまとめ → プランの作成
3日目9:00-10:00	実現性のあるプランにブラッシュアップ
3日目10:15-12:00	プレゼンテーション資料準備 11:30 発表資料提出 想定問答準備
3日目13:00-14:30	発表20分+質疑10分×3グループ
3日目14:45-15:45	全体討議
3日目15:45-16:45	ふりかえり
	成果物の提出×切り 7/31

グループ討議

1日目

ランチタイム

- 自己紹介・他己紹介をします。
食堂に自己紹介シートを持って行ってください。

別紙。
提出締切：7/2（月）17:00。
提出先：edu@research.nii.ac.jp

平成24年度 NACSIS-CAT/ILL ワークショップ自己紹介シート

所属機関名

氏名

1. 自己アピール。

あなたの得意分野・自慢できることは？。

あなたの図書館はどんな図書館？（目録担当者の人数、業務体制、年間整理冊数、レコード調整件数など自身が所属する図書館室についてご記入ください。）。

あなたにとって理想の図書館とは？その実現のためにあなたは何かができる？。

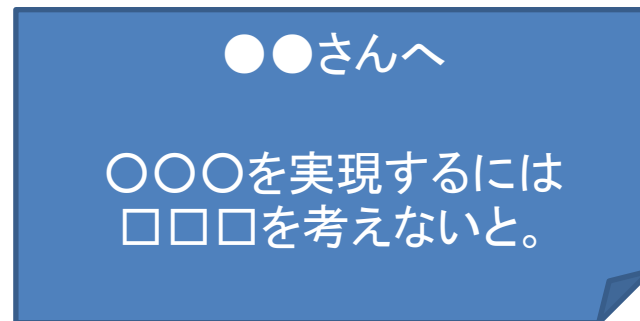
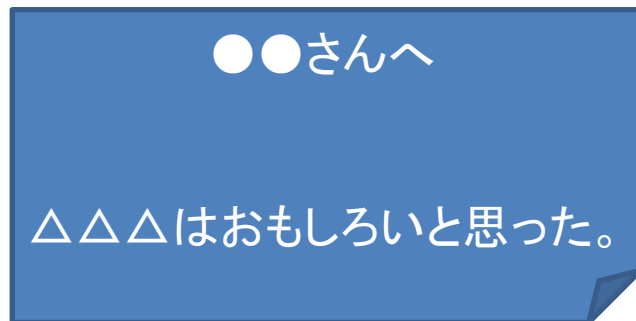
2. CAT/ILL ワークショップへの意気込み。

ワークショップで何を議論したい？何を得意にしたい？。

※受講者全員および講師に配付しますのであらかじめご採印おきください。

事前課題プレゼンテーション

- 事前課題の発表しましょう。(8分)
- 青い付箋に、良かったと思うアイデア、課題になりそうな点など、気がついたことを、1項目1枚書いてあげてください。
- 本人に渡します。



事前課題プレゼン振り返り

- Aさんに対して、感想を言いましょう。(5分)
- Bさんに対して、感想を言いましょう。(5分)
- Cさんに対して、感想を言いましょう。(5分)
- Dさんに対して、感想を言いましょう。(5分)

皆さんのグループが目指す
新しい目録はどんなシステムにしたいですか？

グループ討議

2日目

課題点の洗い出し

目録業務のどこを変えると劇的によくなるでしょうか？
解決できたら一番インパクトが大きいのは
何だと思いますか？

- Aが話します。Bが聴いてください。(5分)
終わったら、CはBの聴き方について感想を言ってください。
(3分)
1班は、終わったら、AはBの聴き方について感想を言ってください。(2分)
- Bが話します。Cが聴きます。Aが感想を言います。(5+3分)
- Cが話します。Aが聴きます。Bが感想を言います。(5+3分)
- どうして目録業務に課題が発生しているのか、どこを変えればいいのか、全員の話のまとめをしましょう。(10分)

解決策のアイデアだし

目録業務をどう変えるとよいでしょうか？
アイデアを出し合いましょう。

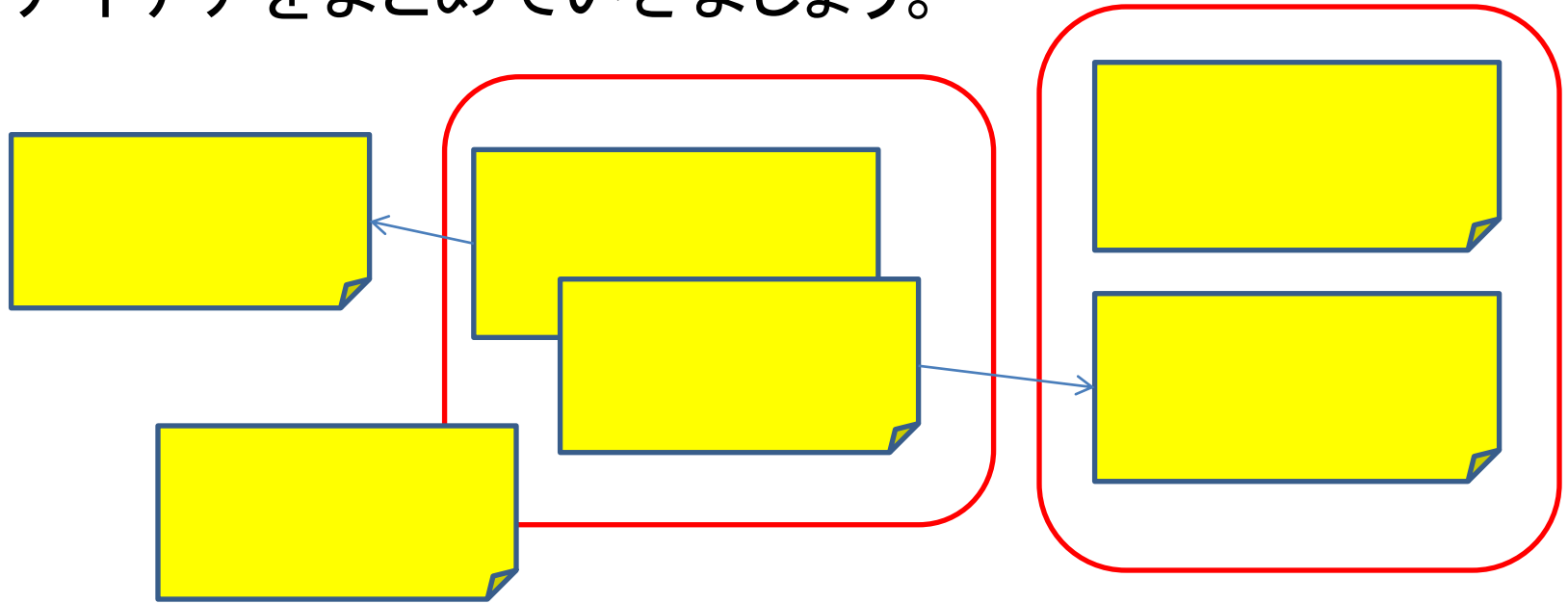
- 黄色い付箋に1項目1枚で、できるだけ多く！（5分間で一人5個）。最初のグループテーマにとらわれる必要はありません。



- お互いのアイデアを見ながら、さらに付け加えていきます。

解決策アイデアの整理

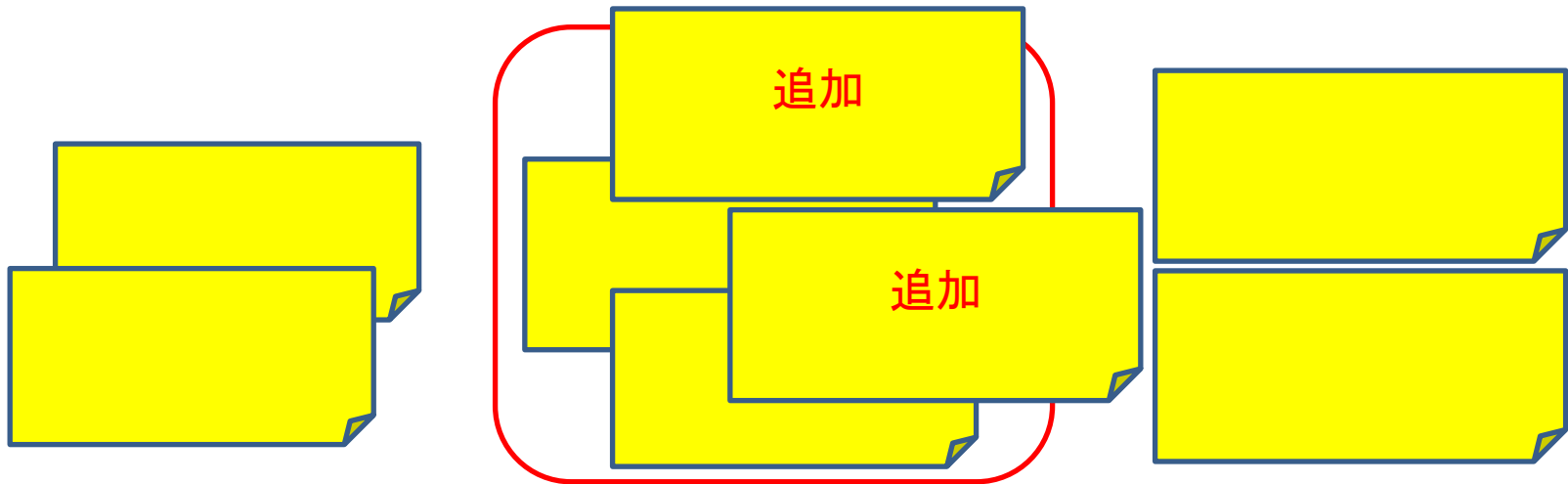
- アイデアをまとめていきましょう。



- 目録業務の望ましい姿と状況は明確になりましたか？それを実現できる解決策になっていますか？

解決策アイデアを深める

- 整理したアイデアの中で、一番重要と思われるところを深めていきましょう。



- 助っ人を呼んできてもかまいません。

3年後に図書館界で話題沸騰となるような新しい目録システムのコンセプトを考えましょう。

口頭進捗発表

- **ここまでの解決策を発表しましょう。(10分)**
- 聴いている人は、青い付箋に、おもしろかった点、実現するには課題になりそうな点などを、1項目1枚で指摘してください。

1班へ

〇〇〇はうまくいきそう

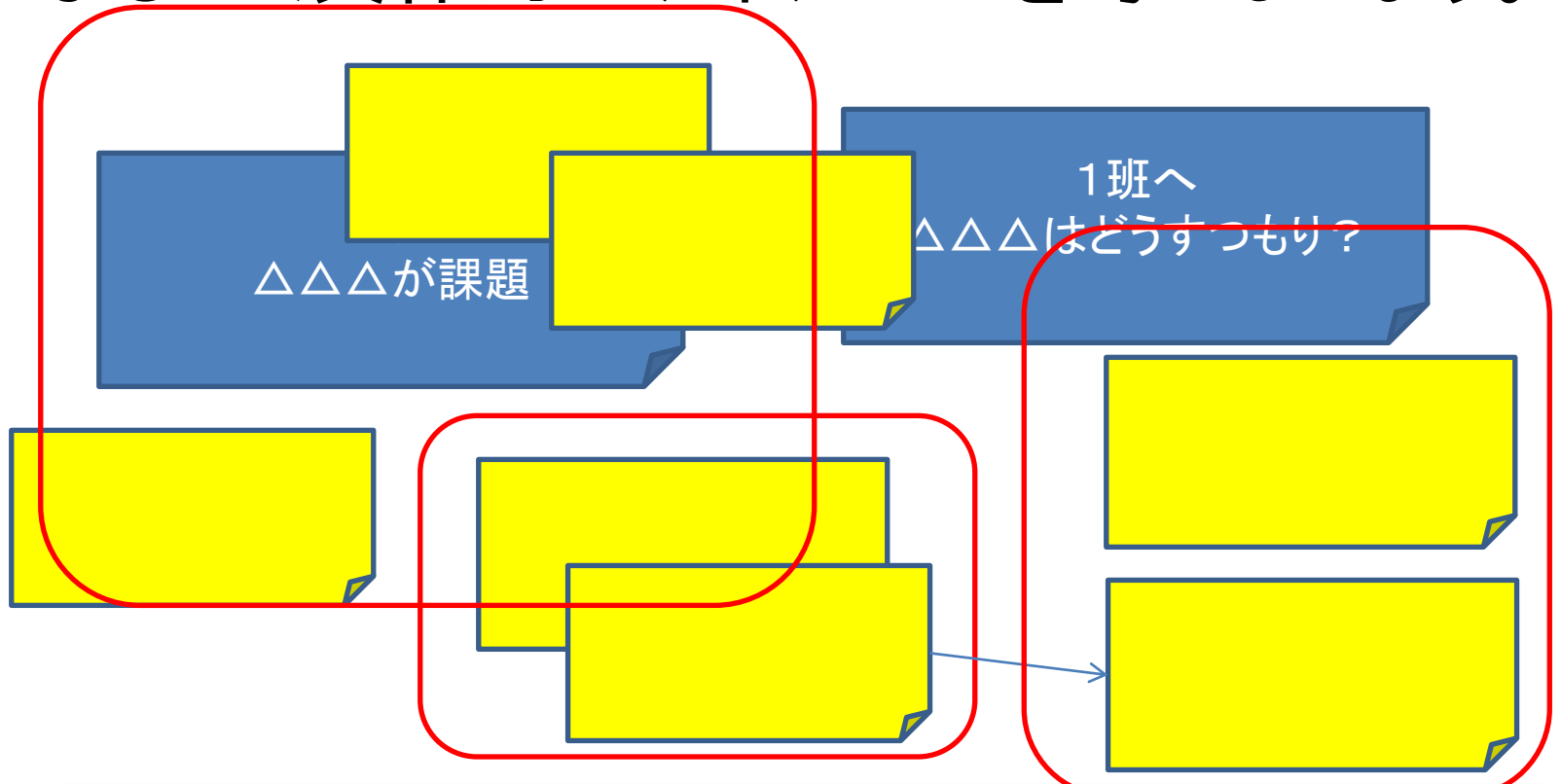
1班へ

△△△はどうするつもり？

- 青い付箋を元に意見交換をします。(10分)

具体的なプラン作成

- なるべく具体的にディテールを考えましょう。



弱点を指摘した青い付箋に対して、対策を示すことができますか？

グループ討議

3日目

プランのブラッシュアップ

このプランは、実現したら、困ることは起こりませんか？
その問題は、どうしたら克服できるでしょうか？
ほかに考慮すべき点はないでしょうか？

- 多面的に検証し、修正すべき点・補強すべき点を考えましょう。
- 実現可能性の高いプランにまとめてください。

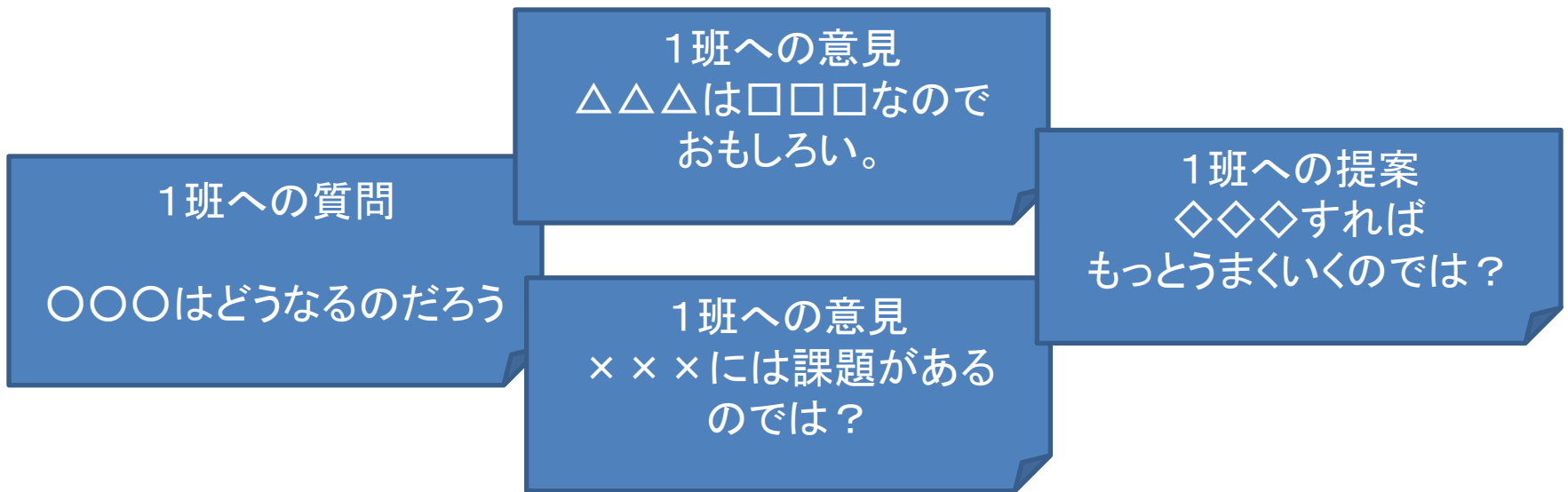
発表準備

みなさんの新しい目録システムのプランはできましたか？

- 発表用の資料を作成してください。
- 発表時間は20分です。
- 発表資料提出
 - 11:30 〆切
 - edu@nii.ac.jp 宛にメールで提出してください。
- 発表者の分担を決めておいてください。

成果発表

- **いよいよ成果発表です。(20分)**
- 聴いている人は、青い付箋に、質問、意見、提案を、1項目1枚で書いてください。



- 青い付箋を元に意見交換をします。(10分)

全体討議

皆さんの新しい目録システム

- ・コスト削減効果はどれくらいでしょうか？
- ・人手と機械処理はどれくらいの配分ですか？
- ・サービス向上につながるでしょうか？
- ・どのように外部データを活用すれば効果的でしょうか？

削減効果は？

サービス向上？

人間と機械の
バランス？

効果的な外部
データの活用？

- ・ 3グループのプラン合わせて、意見交換をします。

ふりかえり

- グループで成果発表・全体討議のふりかえり、この後のグループでの進め方を決めましょう。
成果物の提出 ✕ 切り 7/31 (15分)
 - お互いの連絡先
 - 誰がどのような役割分担をするか
- 1人1分感想(15分)

本WSに参加して、あなたの考えはどうか変わりましたか？

お疲れ様でした！

You did a great job!

Thank you.